

# いま甦る 原本 遠野物語



## 日時

令和4年1月29日(土)  
13:00開会(12:30開場)

## 場所

遠野市民センター大ホール

『柳田國男自筆 原本 遠野物語』  
(岩波書店刊)を会場で販売します(予定)  
価格 5,500円(税込み)

『遠野物語』原稿を写真入りで全文掲載した初の書籍

## プログラム

- 『柳田國男自筆 原本 遠野物語』出版発表  
原本遠野物語編集委員会委員長 三浦 佑之
- 講演「『原本 遠野物語』から  
新たな「謎解き物語」の世界へ」  
原本遠野物語編集委員会委員 小田 富英
- 出版支援事業紹介  
遠野文化研究センター研究員 木瀬 公二

当日の様子は後日YouTube「遠野物語110チャンネル」  
で配信予定です。

入場料  
無料

(※要事前申し込み)

問い合わせ・申し込み先／(一財)遠野市教育文化振興財団 遠野文化研究センター 〒028-0524 岩手県遠野市新町1-10  
TEL/0198-62-6191 FAX/0198-62-6195 e-mail/mail@tono-ecf.or.jp

主催／遠野市 主管／(一財)遠野市教育文化振興財団 遠野文化研究センター 共催／遠野文化友の会

申し込み締切 1月26日(水)

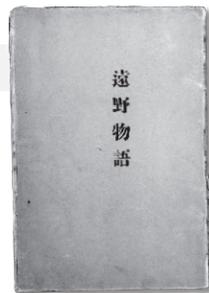
・会場内ではマスクの着用、手指の消毒、検温にご協力をお願いします。(体調のすぐれない方は入場をご遠慮いただきますようお願いいたします。)  
・新型コロナウイルス感染症の状況により、内容の変更または中止する場合がございますので、予めご了承ください。

# 『遠野物語』発刊110周年記念出版 『柳田國男自筆 原本 遠野物語』

## 『遠野物語』初版本

柳田國男著 明治43(1910)年6月14日発刊

『遠野物語』は350部限定の自費出版として刊行された。遠野に伝わる不思議な話、神話、伝説、世間話などを119話にまとめた『遠野物語』は日本民俗学の誕生を告げる記念碑的な書となった。



## 『遠野物語』原稿 柳田國男自筆

毛筆で書かれた草稿 2冊、原稿用紙にペンで書かれた原稿 1冊、朱筆で校正が書き込まれた初校 1冊、校正見本刷り 1冊が残されており、長年にわたり池上隆祐(長野県松本市)が大切に保管してきた。平成3(1991)年、遺族から遠野市に寄贈された。

令和4年1月『柳田國男自筆 原本 遠野物語』として岩波書店から出版されることになった。近現代の作品で物語の生成プロセスをたどることができるテキストは稀で、原稿の出版により新たな『遠野物語』研究が始まることが期待される。



## 原本遠野物語編集委員会

委員長 三浦 佑之

### —プロフィール—

1946年、三重県生まれ。日本文学者。千葉大学名誉教授。古代文学を専攻し、伝承・昔話や地方の言語などを多岐にわたり研究。1987年『村落伝承論—遠野物語から』で第5回上代文学会賞を受賞。2002年『口語訳 古事記』で古事記ブームの火付け役となった。近著に、『出雲神話論』『海の民』の日本神話』など。

## 講演 「『原本 遠野物語』から 新たな「謎解き物語」の世界へ」

### \*要旨\*

刊行された『柳田國男自筆 原本 遠野物語』は、昭和7年、柳田が若き池上隆祐に託した「毛筆草稿・ペン書き原稿・初校」(今まで「初稿本三部作」と呼ぶ)と、なかなか手に入らない初版本を一冊に収めた貴重本です。何が貴重かと言うと、ここには、まだ見ぬ読者が抱くであろう未知の謎が限りなく詰まっているからです。90年前の柳田と池上の言葉にならなかった約束と因縁を結べるか、みなさんと一緒に考えてみたいと思っています。



### ●講師

原本遠野物語編集委員会委員 小田 富英

### —プロフィール—

36年間東京都公立小学校教員(この間遠野武蔵野児童交流等にかかわる)を勤めた後、作新学院大学特任教授を経て、現在『柳田國男全集』編集委員、日本地名研究所理事、『地名と風土』編集長、遠野文化研究センター研究員、常民大学運営委員、『遠野物語』で交流を楽しむ会(『遠野物語』交流楽会)代表など。編著『柳田國男年譜』(『柳田國男全集』別巻1)他。

## 出版支援事業 「やっぱり遠野物語は面白い」

『柳田國男自筆 原本 遠野物語』について、関係者へのインタビューなどによるサイドストーリーを連載しています。

執筆者 遠野文化研究センター研究員 木瀬公二

こちらから読むことができます。  
(ウェブサイト「note」)▶

